

## 加藤厚労相「確認した上で公表」 年金データ再委託問題

2018年3月23日11時29分

日本年金機構がデータ入力を委託した「SAY（セイ）企画」が契約に違反して中国の関連会社に再委託していた問題をめぐり、加藤勝信厚生労働相は23日の閣議後会見で、1月10日に報告を受けた後に2カ月以上発表しなかった理由について「全体をしっかりと確認した上で公表する必要があった」とし、対応に問題はなかったとの認識を示した。

機構は再委託について昨年末の内部通報で把握。SAY企画への特別監査などで確認後、厚労省に1月9日に伝え、加藤厚労相はこの翌日に報告を受けた。SAY企画のデータ入力をめぐっては、大量の入力ミスも判明している。加藤厚労相はその後、再委託先の情報セキュリティ対策や個人情報の流出がないことを確認するとともに、データ入力のミスなどの精査をしていたとし、「全体の解明がほぼ終わった段階で年金機構の（水島藤一郎）理事長に公表を指示した」と説明した。

朝日新聞デジタルに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

Copyright © The Asahi Shimbun Company. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.